



2026年 8 月18日

各位

会 社 名 株式会社リンクバル
代表者名 代表取締役社長 吉弘 和正
(コード番号：6046 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 松岡 大輔
財務経理部長
(TEL. 050-1741-2300)

2026年 9 月期 第 3 四半期 決算に関する質疑応答集

株式会社リンクバル（本社：東京都中央区、代表取締役社長：吉弘和正、以下「当社」）が、2026年 8 月14日に発表いたしました2026年 9 月期 第 3 四半期決算について、当社にて想定していたご質問および発表以降に株主・投資家の皆様からいただいた主なご質問とその回答について取りまとめました。なお、本開示は、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q：通期計画達成のためのポイントを教えてください。。

A：当第4四半期には、自社大型イベント開催件数を、第3四半期の13件から、2倍の26件に大きく引き上げる計画です。この26件のイベントを着実に開催し、売上・利益の積み上げを図ってまいります。同時に、広告宣伝費などの販管費のコントロールも徹底していくことで、利益の通期計画達成の確度を高めてまいります。

Q：計画達成による利益の上積みについて教えてください。

A：利益率については、イベントの開催規模、開催内容等により異なりますが、参加者数も大きな要素となります。そのため、当初の集客計画を確実に達成することに加え、当日の参加率を高める施策を講じることで、さらなる利益の上積みを図ってまいります。

Q：来期以降の見通しについて教えてください。

A：足元におけるイベント事業は好調に推移しており、開催規模の拡大に対応できる社内体制も順調に整ってまいりました。来期は、この強化された体制を存分に活かし、イベント開催数の増加による売上拡大はもちろんのこと、運営効率化を通じて収益性の向上にもつなげてまいります。

Q：マッチングイベントやAIソリューションに限らず、来期以降どのような事業拡大を考えていますか。

A：当社の強みを最大限活かせる内容で、かつ収益性が高いビジネスをあらゆる角度から模索したいと考えています。

Q：AI関連投資の内容について、より具体的に教えてください。

A：主に、AI領域における開発や活用を推進する専門人材の採用および人件費が中心となっております。

Q：株主優待費用が利益の押し下げ要因となっていますが、今後の費用の見通しについて教えてください。

A：初回となる2026年9月期の中間基準日におきましては、継続保有条件を適用しなかったため一時的に優待費用が膨らみました。しかしながら、本期の期末基準日以降は継続保有が必須条件となるため、対象となる株主様が絞られ、優待費用は一定程度抑えられる見込みです。

以上